

子ども用車椅子
これまでに
送り届けた国々

累計 23ヶ国

7,093台

2018年7月現在

あなたの
サポートを
求めています

世界の肢体不自由の子どもたちにもたちに動ける喜びを。



提供する

- 不要になった子ども用車いすを首都圏特別支援学校のPTAや療育センターのご協力で収集しています。
- 個人の方は送料ご負担で送ってください。

送り先 福生市加美平 3-7-13 森田祐和 宛



会員になる

- 会員としての活動への参加をお待ちしています。
- 年会費は個人3,000円、法人は20,000円です。
- 入会希望者には入会申込書をお送りします。



寄付する

- 国内外の活動に経済的支援をお願いします。
- 海外へ送るには整備費・輸送費など1台約1万円かかります。

お振込先

郵便振替 口座記号番号: 00130-9-389966
海外に子ども用車椅子を送る会
多摩信用金庫 昭島支店 普通 3933782
海外に子ども用車椅子を送る会



活動する

- 会員でなくとも洗浄整備等の作業に参加できます。
- 毎月第3日曜日に例会で整備作業を行っています。
- 参加者の交流の場です。見学参加を歓迎します。

活動場所

多摩包装工業株式会社
羽村市緑ヶ丘5-10-5
(青梅線羽村駅から12分)

毎月第3日曜日
kaigaikurumaisu.org
詳細はHPで



ホームページ <http://kaigaikurumaisu.org/>

発行元 / 海外に子ども用車椅子を送る会 東京都福生市加美平3-7-13 TEL042-553-2342

N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会



活動
レポート
2018年8月 第19号



エチオピア

2018年5月
90台

首都アジスアベバ市で90台を障害をもつ子供たちに届けました。さらに7月には90台をバハルダール市に届ける予定で、2011年に初めてエチオピアへお届けして以来、累計では520台を数えることとなります。5月22日アジスアベバ市労政局オフィスでGizaws局長も参加のうえ、15名の子ども達が代表で引渡式に参加してくれました。



Gizawsアジスアベバ市政府労政局長、チェシャ財団関係者、他の福祉団体関係者が参加し、当会への謝辞を語ってくれました。



著名な社会福祉活動家Sr.Zebiderさん、MarryJoy Developmentを主宰している。日本の篤志家から預かった日本アニメキャラクターが描かれた文房具をお届けした。



2011年来当会のカウンターパートを務めているCFAL (Cheshire Foundation Action for Inclusion) は英国チェシャ財団から大きな支援を受けている団体。健常の学生、生徒などが利用する図書館、自習室には当会からの車椅子が常備されていた。学校施設への“先進的”トイレ寄贈も事業の一環。後方水タンクから手洗い場への配水が完備していることが画期的とのこと。

兄弟の車椅子受取りに同行してきた兄弟たち。同国の出生率は低下してきたとは云え4人を超えているとのことだった。青い車椅子はチェシャ財団バハルダール支部で製作したという手回し車椅子。自転車ギアを使った改造車。



インドネシア

2018年6月
160台

中部ジャワ州ソロ市の団体CBR-DTC Soloと協力し、子ども達に160台の贈呈を行ないました。同団体はWHOやUnicefなどが1980年代に大きく機運を盛り上げたコミュニティー・ベースト・リハビリテーション活動のモデル団体として、障害者も多く働いている団体です。EU欧州連合、WHO傘下の著名な国際福祉団体cbm(クリスチャン・ブラインド・ミッション)などからの支援を受け、インドネシア政府、ソロ市機関などと相互補完を果たしながら活動を継続しています。



今回は当会会員で障害をもつ子供と共に参加した会員の岡田宏美さんが各所で車椅子のフィッティングに汗を流してくれた。子どもが楽に、安全に利用する姿勢保持などインドネシアのお母さんたちは真剣に聞き入っていた。



団体事務所でMr.Christian, Mrs.Dartiさんなど幹部スタッフと事前打合せ



スラカルタ(ソロ)市社会福祉局長Ms.Rohanaさんがセレモニーを主宰、5人の子どもが式に参加してくれた。



9歳になる前に交通事故で脊髄損傷を負った岡田真基さんも現地の子ども、保護者との時を経験した。日本から車椅子で訪問してくれた真基さんに保護者も大変喜び、歓迎してくれるとともに、子供たちが見せてくれた格別の笑顔には驚かされた。ソロ市、ならび約40 km離れたスラゲン県を訪れ県政府福祉局の表敬訪問ほか家庭訪問を行なった。